

茅ヶ崎信用金庫

創立

40

周年

記念誌



ある時——
見知らぬ大地に
一滴のしたたりがあった
一滴は一滴を加え
ひとつの流れとなった
細いくつもの流れは
いつか太い流れとなった

ある時——
流れは暗い闇の中に
ただ沈黙し苦悶し
停滞した

ある時——
流れは紺青に苔むした岩間を
ただひたすらに
激流に身をまかせた

ある時——
流れはきらめく陽光のもとに
明るく楽しく
安穩の姿をみせた

そして今——
満々と
どっしりと
水をたたえ流れる

だが今——
初めの一滴が
ある新たな一滴が
青々とした若木の——
名もない雑草の——
清流に住む稚魚の——
その生命の恵みとなったことを
忘れてはならない
——一本の朽ちた杭木が
それを知っている

ごあいさつ

当金庫は、昭和7年11月に、当時の産業組合法に基づいて、茅ヶ崎町における庶民の金融機関として、地元の皆様の強いご要望と熱烈なご支援のもとに発足した茅ヶ崎信用組合がその前身であります。誕生以来ここに40年の歳月を経るに至りましたが、その間、制度の基礎となった法制も、産業組合法——市街地信用組合法——中小企業等協同組合法——信用金庫法と移り変わり、現在は、茅ヶ崎市、寒川町を中心として地元の中小企業の方々や勤労者など国民大衆の会員組織による金融機関として確固たる基礎の上に立って堅実な歩みを続けております。顧みますと、組合創立のころは、わが国の経済界は不況のどん底にあり、その後、支那事変～第2次世界大戦という激動する世相と、戦後の混乱と荒廃を経験し、幾多の困難を克服して今日の発展をみたわけではありますが、会員各位の格別のご支援と歴代役員一同の強い団結と努力により、内外諸情勢の変化にも対応しつつ、充実発展を遂げ、今日の茅ヶ崎信用金庫の基盤と信頼として結晶し、その発展を得るに至ったものでありまして、揺籃時代の模索と体験の積み重ね、その後の経過等をふりかえってみますと、誠に感慨深いものがありますが、当金庫をこれまでに築き上げた諸先輩のご労苦と、会員皆様のご協力に対しましては、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

つきましては、当金庫の40周年を迎えるにあたり、関係各位への感謝の気持を表わすとともに、当金庫の歴史の一端をふりかえりながら、信用金庫の意義とその使命の重要性を深く認識し、さらには金庫将来の発展に資することといたしたい所存から、ここに40周年記念誌をご贈呈申し上げるものであります。

最近におけるわが国経済の著しい発展、社会情勢の激しい変化は、誠に目をみはるものがあります。また、金融機関をとりまく環境もいろいろときびしいものがありますが、信用金庫はこれからも地元の繁栄と皆様方の幸福を念願し、業務内容などを常に検討改善しつつ、その使命の達成、業績の進展を図り、この栄ある年をいっそう意義あるものとしたたいと存じます。

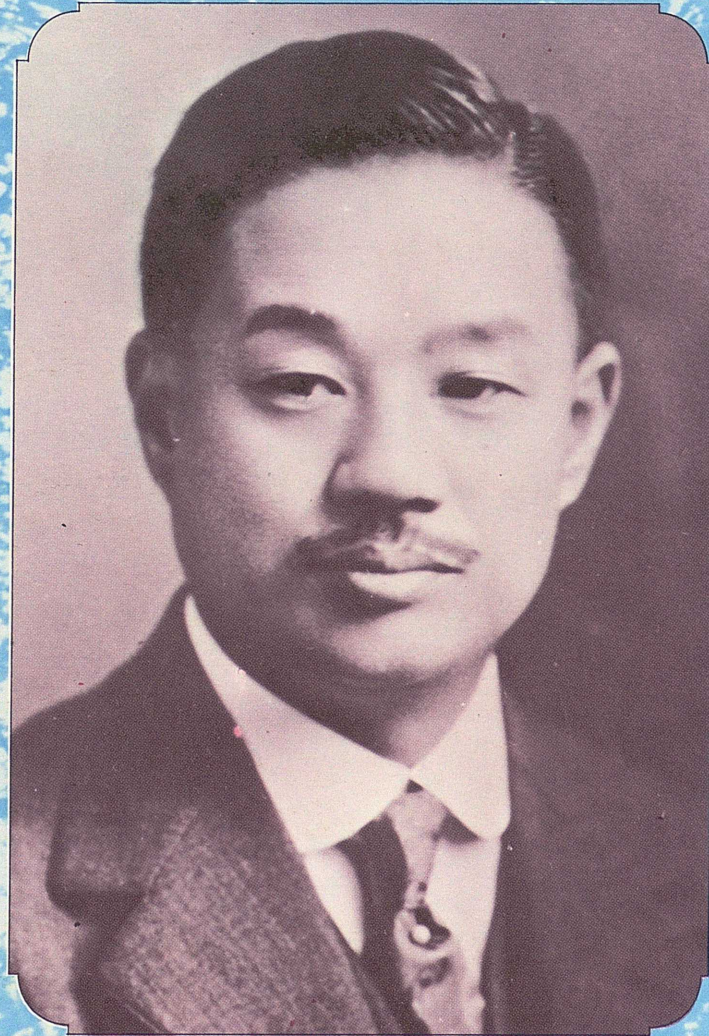
皆様方の相変らぬご協力とご援助を賜われますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

昭和47年11月

理事長 廣瀬頼彦



創立功労者



創立者 小山 房全 殿

長野県、依田信濃絹絲紡績株式会社々長工藤善助の二男として明治15年8月17日生、上田中学、西ヶ原蚕業講習所卒業後小諸町純水館々長小山久左衛門の婿養子となる。製糸業に従事、大正6年2月純水館茅ヶ崎製糸所創立、業界および茅ヶ崎の発展に多大の功績を残した。昭和7年有志と相諮り広瀬頼彦（現理事長）を事務長に迎え、保証責任茅ヶ崎信用組合の設立に尽力した。温厚篤実、至誠、高邁な人格は地元の信望篤く昭和10年病魔に侵されるや地元町民挙げての快癒大祈願の甲斐なく同年9月15日54才にて逝去された。

経営陣



理事 中川 文次郎



専務理事 堀越 誠



常務理事 平野 寿



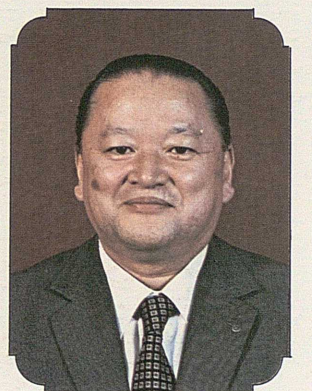
理事 森 亘



理事 水沢 喜重郎



定例役員会



理事 山本 銀三



理事 戸塚 辰五郎



監事 難波 直治



監事 小島 芳太郎

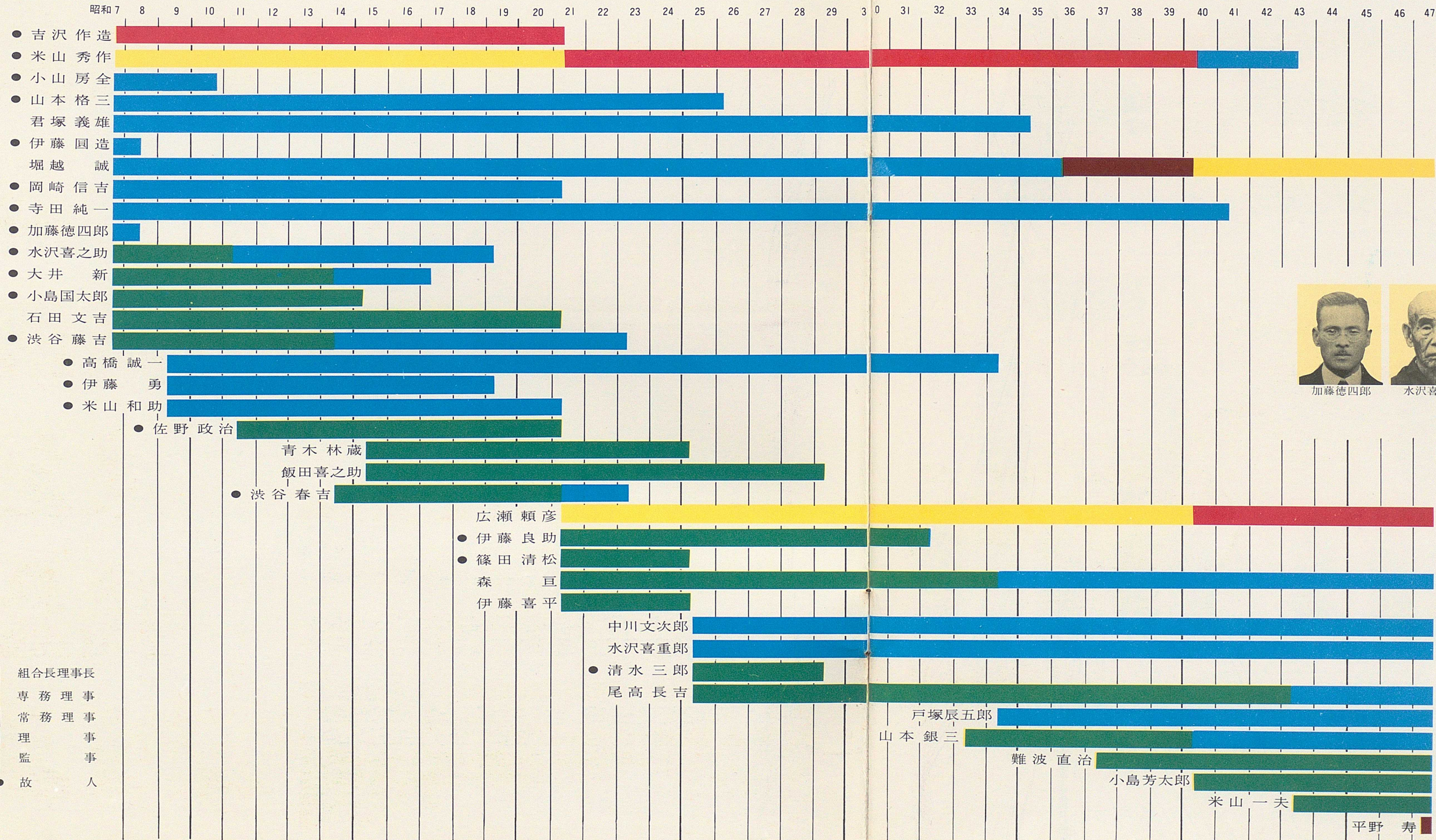


監事 米山 一夫

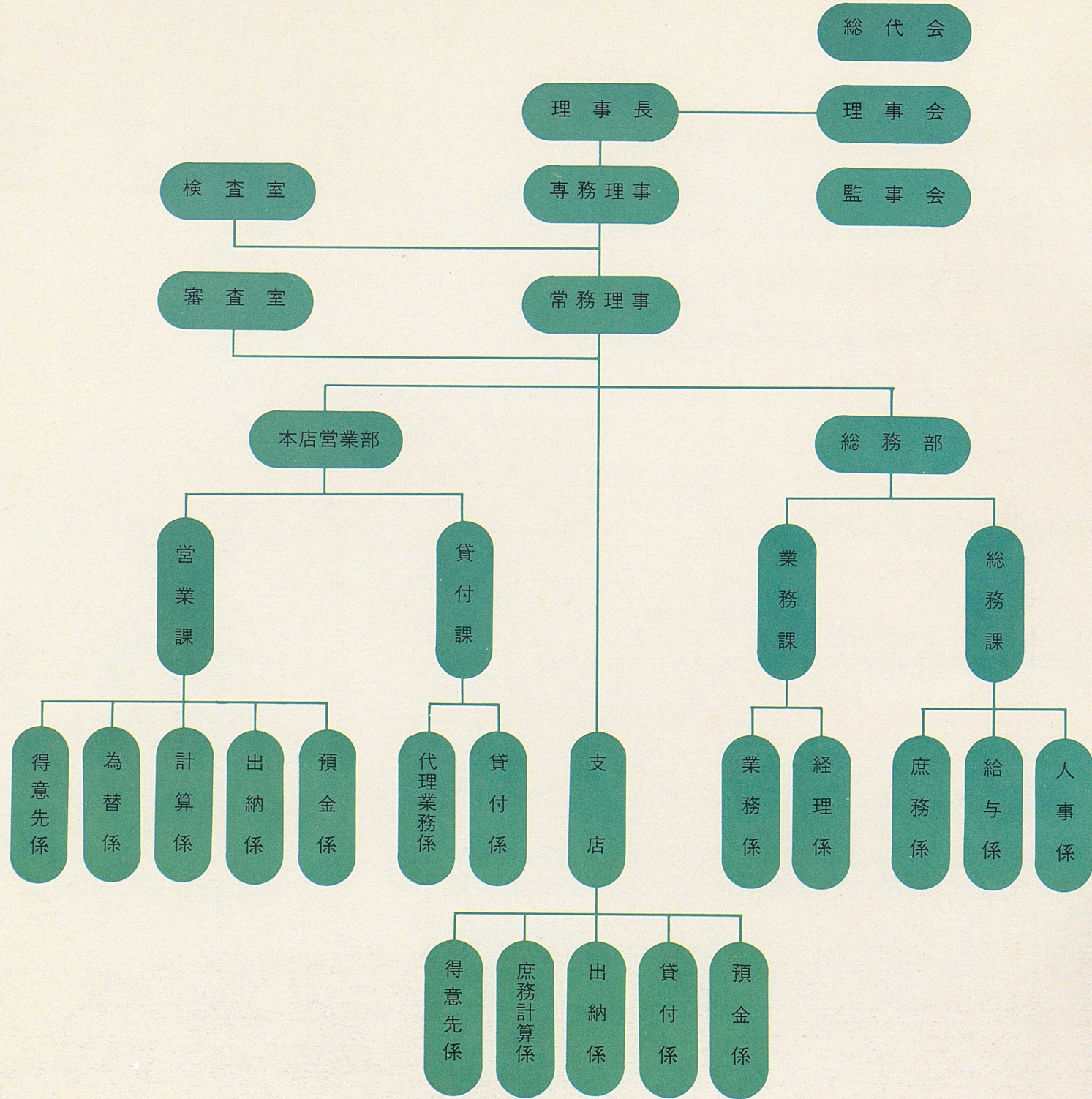


理事 尾高 長吉

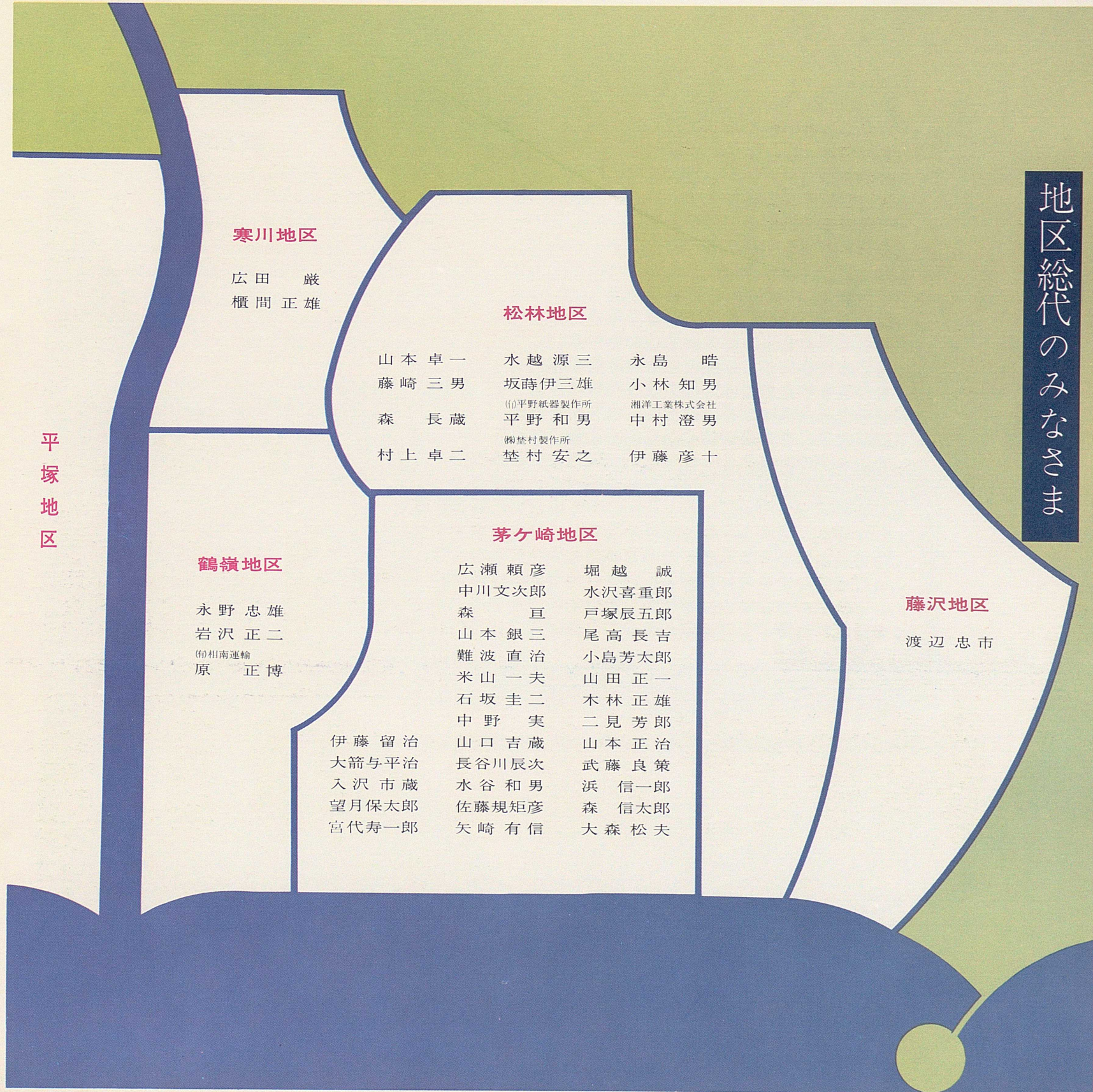
歴代役員在任表



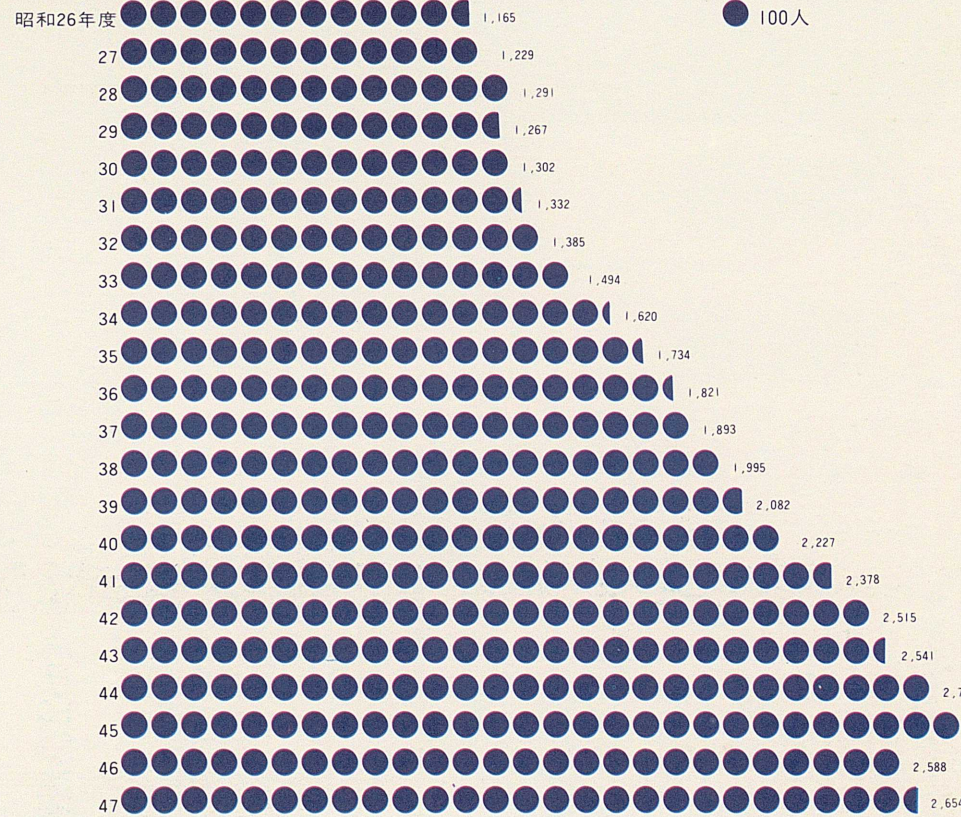
機構図



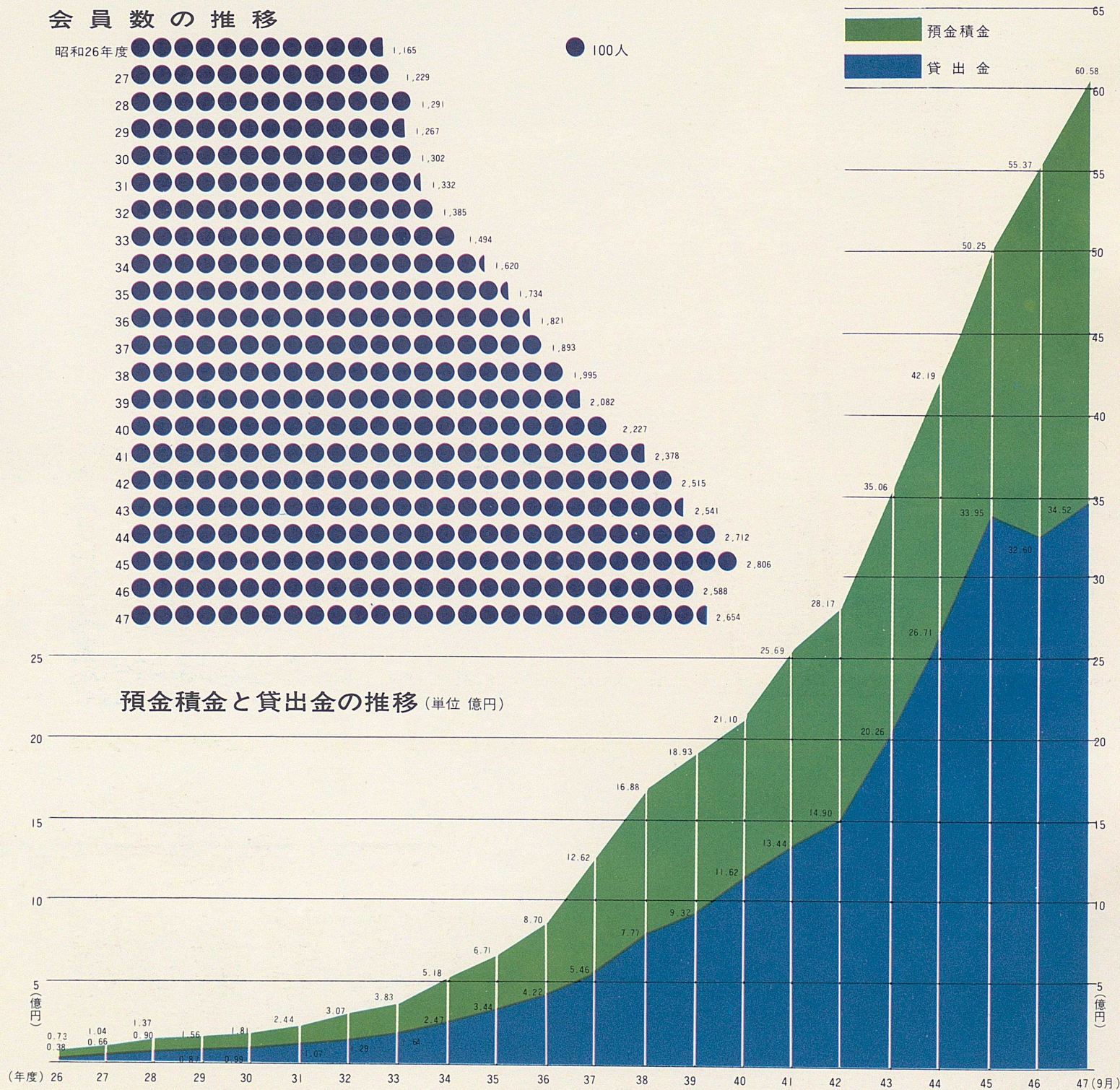
地区総代のみなさま



会員数の推移



預金積金と貸出金の推移 (単位 億円)



昭和7年当時、我が国の経済界の不況はいよいよ深刻の度を増し、必要な産業資金は中央に集中したため、全国的にその打開と自力更生運動が強力に展開されていた。信州小諸市出身の製絲業純水館々長の小山房全氏(当時茅ヶ崎在住)は、この不況克服は勤儉貯蓄と共存共栄を基調とし、地域産業の助成を生命とする産業組合法による信用組合を設立し、その使命達成をはかることが茅ヶ崎町の発展に寄与する処大なりと信じ、町の有志山本格三、米山秀作、加藤徳

四郎、水沢喜之助、渋谷藤吉、寺田純一、大井新、君塚義雄、堀越誠、小島国太郎、岡崎信吉、石田文吉の12名と相諮り組合設立を推進した。

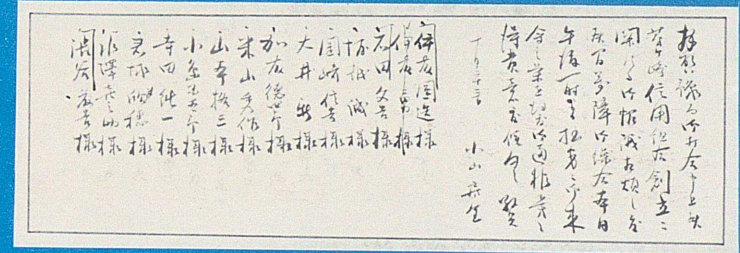
先ずその年の9月25日最初の会合が純水館において開かれ、この日、小山房全、山本格三、寺田純一、水沢喜之助、加藤徳四郎、広瀬頼彦の6氏が集った。

当日は創立委員候補者の人選を次の如く決定した。即ち上記の6氏の外、米山秀作、君塚義雄、堀越誠、伊藤圓造、岡崎信吉、大井新、渋谷藤吉、石田文吉、小島国太郎、伊沢吉五郎、米山和助、伊藤内匠の諸氏である。

その後、いろいろ宇余曲折があったが、10月20日に創立委



創立翌年の新年



40年のできごと

- 1932年 上海事変
五・一五事件
満州国成立
- 1933年 国際連盟脱退
ヒトラー政権
丹那トンネル開通
- 1934年 室戸台風
- 1935年 ソ連国際連盟加入
第一回芥川賞・直木賞発表
- 1936年 二・二六事件
準戦時体制
- 1937年 日華事変
日独伊防共協定
文化勲章制定
- 1938年 国家総動員法
ミュンヘン会談
- 1939年 ニッポン号世界一周旅行



丹那トンネル開通(1933)



800メートルリレーに優勝した日本チーム
日本チームは世界ならびにオリンピック記録を破る8分58秒4のタイムで堂々と優勝した。写真は右から横山、豊田、遊佐、宮崎の四選手。

昭和8. 4 第1回通常総会を開催、事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに損失金処分を承認。

預金 組合員 37件 11,841円
 家族 135件 3,000円
 団体 8件 366円
 180件 15,207円

貸付金 44件 8,055円
 出資金 組合員 156人 3,353円
 損失金 506円51銭

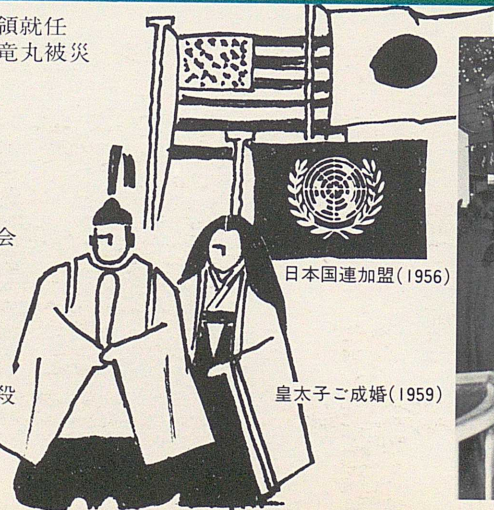


昭和35年7月 職員撮影会

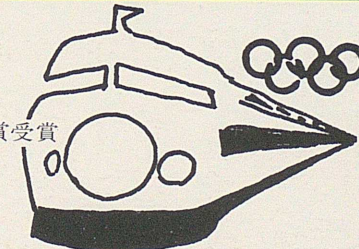
- 昭和10. 9 創立者理事小山房全死去
- 昭和13. 9 保証責任茅ヶ崎信用販売購買利用組合に改組
- 昭和13. 10 白米販売を開始
- 昭和15. 7 精米事業を開始
- 昭和17. 12 小和田地区に出張所新設
南湖地区に出張所新設
- 昭和19. 6 市街地信用組合法に基く茅ヶ崎信用組合に改組
- 昭和20. 9 庶民金庫代理業務取扱開始。
- 昭和21. 4 旧勘定、新勘定分離
- 昭和21. 5 通常総会にて組合長吉沢作造退任。
第2代組合長に米山秀作、専務理事に広瀬頼彦それぞれ就任。

- 昭和23. 5 通常総会にて昭和21年4月1日より昭和23年3月31日する4期間の新勘定の決算を承認
(昭和23年4月1日午前0時現在新旧勘定合併)
- 昭和24. 6 国民金融公庫代理業務開始
- 昭和25. 4 中小企業等協同組合法に基く茅ヶ崎信用協同組合に改組
- 昭和25. 12 本店の土地、建物買収(茅ヶ崎市茅ヶ崎5565番地)
- 昭和26. 11 信用金庫法に基く茅ヶ崎信用金庫に改組
本店を茅ヶ崎市茅ヶ崎5565番地に移転

- 1954年 アイゼンハワー大統領就任
ビキニ水爆で第五福竜丸被災
自衛隊発足
- 1955年 自由民主党結成
原水爆禁止世界大会
- 1956年 日本国連加盟
日ソ国交回復
- 1957年 ソ連人工衛星打上
- 1958年 第3回アジア競技大会
勤務評定反対闘争
- 1959年 皇太子結婚式
キューバ革命
- 1960年 日米新安全保障条約
カラーテレビ放送
浅沼社会党委員長刺殺
- 1961年 農業基本法成立
- 1962年 国産原子炉に点火



- 1963年 キューバ封鎖
ケネディ暗殺
- 1964年 東海道新幹線営業
東京五輪大会
- 1965年 朝永振一郎ノーベル賞受賞
日韓基本条約調印
- 1966年 中国文化大革命
政界の黒い霧問題化
- 1967年 日米首脳会談
羽田空港流血デモ事件
- 1968年 川端康成ノーベル賞受賞
パリ会談
- 1969年 沖縄本土並返還決定
米国初の月探険
- 1970年 国産人工衛星打ち上げ
- 1971年 沖縄返還
- 1972年 当金庫創立40周年を迎える



新幹線開通(1964)
オリンピック開催
万国博開催(1964)

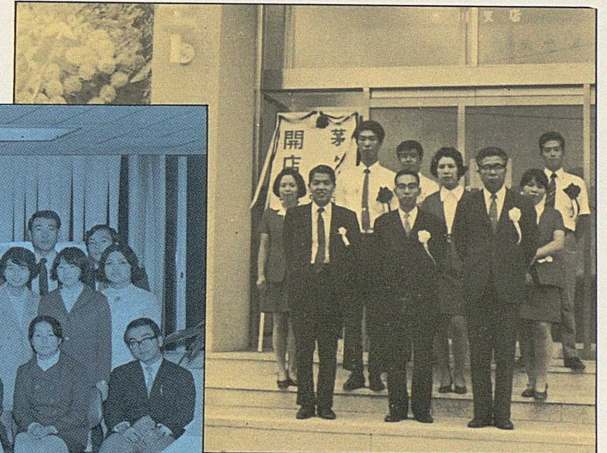


- 昭和27. 2 南支店用地買収(茅ヶ崎市茅ヶ崎字東石神58番の52)
- 昭和31. 12 中小企業金融公庫代理業務開始
- 昭和34. 10 中小企業退職金共済事業団代理業務開始
- 昭和35. 7 本店事務所新築落成
- 昭和37. 2 住宅金融公庫代理業務開始
- 昭和37. 7 全国信用金庫連合会代理業務開始
- 昭和37. 10 南支店開店(茅ヶ崎市幸町2番24号)
- 昭和37. 11 創立30周年記念祝賀式執行
- 昭和40. 5 理事長米山秀作退任、第3代理理事長に広瀬頼彦、専務理事に堀越誠がそれぞれ就任

- 昭和40. 5 藤沢市の一部(辻堂、羽鳥、大庭、鶴沼)へ地区拡張
- 昭和40. 11 小和田支店開店(茅ヶ崎市浜竹3丁目2番32号)
- 昭和44. 2 日本長期信用銀行代理業務開始
- 昭和44. 10 平塚市へ地区拡張
- 昭和46. 5 日本興業銀行代理業務開始
- 昭和46. 7 寒川支店開店(高座郡寒川町岡田112番地)



昭和46年11月25日 広瀬理事長 黄綬褒章受賞



昭和46年7月19日 寒川支店開店



東海道ベルトラインの一角に
おちついたたたまいをみせる
この静かな街並み

一見この静寂の中にも
激しい時代の波がおしよせ
敏感な反応をみせている

恵まれた環境と
都市集中
郊外の急速な開発

静穏な広がりの中に
大きな可能性と
厳しい歴史の繁栄を発見する



座談会“あの日あの時”

出席者

創立者 故小山房全氏夫人
小山 敬子

理事長
広瀬 頼彦

専務理事
堀越 誠

寒川支店長
小林 一郎

本店営業部貸付課係長
渡辺 泰男

南支店貸付係
秋元 光

本店営業部営業課預金係
船戸 玲子

司会
常務理事
平野 寿

(敬称略)

日時 昭和47年10月16日
場所 市内 喜久本



広瀬 頼彦氏



(司会) 平野 寿氏

一口に40年といいますが、それは長くまたけわしい道のりでもありました。とくに創立のころの経緯は忘れられがちです。幾多先達がどんな労苦をして今日を築き上げたかそしてそれを今後の発展にどのように結びつけてゆくか、いろいろな年齢層の方々にお集まり願ひ話し合っていました。



小山 敬子氏

◆創立40周年の感想

司会 今日はお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。ご承知のとおり今年で創立40周年を迎えたわけですが、今日は設立から今日までの足どりをふりかえって、いろいろお話ししていただきたいと思ひます。

創立された昭和7年のころといひますと、上海事変が起こり社会的に混乱の時代で、経済的にも不況で資金需要が低下したという非常に不安定な情勢でした。ですからそういう時期に創立されたということは、大変な努力がなされたと思われるわけですが、今日ご出席の方々の中にはそのころのことを知っていらっしゃる方、また知らない方もいらっしゃるわけですが、まず小林さんから40周年を迎える感想というところから話していただきましょうか。

小林 私が当金庫に入りましたのは昭和26年で今年が21年目になるわけですが、そうしますと私の勤務年数の倍にあたるわけで、とても長い道のりだったという実感もあっております。

昭和7年といひますと私が小学校入学の年で、経済情勢などわかりませんが、長い年月であったと思ひます。
司会 長い間の努力の結晶といひますね。

船戸 私は入ってから6年半で、今40年と聞いて、昭和7年には勿論生まれてもいなかったわけですから、随分昔のことのようにも思ひます。それだけに40年の記念の年を迎

えますのは、とても幸せだと思ひますし、何も知らない私達が先輩の方々のご努力を思うと、私達が祝賀をする資格があるのか、とてもずっしりとした責任感を味わっています。これからのことを思ひますと、よけいに心配にもなってきます。先輩の方々のご苦勞にどのように報いていけるのか、引きついでいけるのか、不安な気持もします。

堀越 そうですね。今のお話のとおり、当時の関係者として残っているのはここに居られる広瀬理事長と君塚義雄さん、石田文吉さん、それと私ぐらいで、40年前のことを考えてみますと私も広瀬理事長同様若輩だったわけですから、信用組合といひてもよく知らなかったわけですから。

◆創立のころ

堀越 今お話にもありましたように、あの頃は組合を作ろうなんてとても考えられない時代でして、今日の隆々たる姿をみると、本当に小山房全さんに先見の明があったとしかいへませんね。私は実は非常勤理事でして理事長や小山敬子さんの方がよく知っておられると思ひますが……。



堀越 誠氏

小山 いま先見の明というお話でしたが、何しろ当時は1日労賃が50銭という時代でして結局組合を作ろうと主人も考えてはいたのですが、つまるところ人材の問題にいきあたりまして、広瀬さんが来てくれなくてはやめる、といひていました。私も実は大変な時代でしたので組合には反対しまして(笑)何しろ自分の事業が赤字の有様で、堀越さんも一緒に初めても随分心配されたのではないですか(笑)

堀越 いや、そんなことはありません。(笑)
小山 山本格三、寺田純一、水沢喜之助のみなさんも正直なところ困ってしまひて、いやとはいへないし、かといって会員は集まらないし、赤字になるに決まっています(笑)——結局広瀬さんが来て下さって実現したわけですがそういう意味では先見の明があったといえるかも知れません。(笑)

広瀬 いや小山さんの人徳ですよ。いろいろいいながらも結局有力者が集まってきたのは…。当時は不況のどん底で



小林 一郎氏

国も地域経済の振興のためには組合しかないと考えており県も動き出して、神奈川県はおくれていたのですが、私が県へ申請に行った時は平塚、藤沢、大磯と秦野と4ツに力を注いでいたんです。藤沢は政争で中止になったのですが県では茅ヶ崎は何年たっても出来ないと考えていたのだと思ひます。といひますのも当時茅ヶ崎の町政がうまくいっ

ていない時で、茅ヶ崎に作ろうというのなら藤沢へ教えてもらいに行け、といわれたくらいです。小山さんは初め寺田純一さん、山本格三さん、加藤徳四郎さん、水沢喜之助さんの5人を集めて会合を開きましたが、最初はなかなか人が集まらなくて、一人として心から賛成した人はなかったと思ひます。どうも利用されるんじゃないかと思ひていたようでした、(笑)組合の性格をよく知らなかったわけですね。それでも結局小山さんの人格ですよ。断わることができなくて、寺田さんなんかも反対したのですが、米山秀作さんが監督するからといひて創立の運びとなったのです。

司会 結局、小山さんの人格によって結成されたといひますね。

広瀬 そうですね。ただ街に声をかけたってとても組合員が集まる可能性はなかったんです。そこで役員も一人10人ずつの会員を集めろというわけでした。皆自分の使用人の名前なんかを使ったりして、県からは100人集めろといひられてなんとか人数を集めたのですが……。

司会 組合長に吉沢作造さんをお願いに行ったのは何か事情があったのですか。本来なら小山さんがなされるべきと思ひますが。

広瀬 いや、そのことは先程小山さんの奥さんがおっしゃったように、ご自分の仕事のこともあって皆に利用されるんじゃないかという気持がありまして、組合長を引き受けることは組合のためにはならないとはっきりおっしゃって辞退されました。ところが、吉沢さんがなかなか引き受けてくださらなくて、結局出資は一口しか出さない、借入れの保証人にはならない、役員には金を貸さない、何でも自



渡辺 泰男氏

◆順調だった揺籃期

司会 金融面でも統制が強化されていったわけですが、そのころの信用組合はいかがでしたか。

広瀬 案外茅ヶ崎は、それほどひどいことにならなかったみたいですね。ただひとつだけ、県知事から農業組合に改組せよ、という圧力が加わって、吉沢さんが「とんでもない、強いていうなら解散も辞さない」というところまでいったこともありました。それ以外は社会の混乱の状況のわりには順調でした。

司会 そして新円切りかえ、金融封鎖というような試練の時代を迎えるわけですが、その辺のところはいかがでしたか。

広瀬 そうですね。皆あまりどうということはないです。まあ他の金融機関なんかいろいろあったようですが私共は地元との密着度が強かったし、まあさわりでも仕方ないというので、とくになかったですね。

司会 そうこうして戦後のどさくさの時代になるわけですが、小林さんの入られたころはどうでしたか。

小林 23～4年ですか、戦後のいわゆる闇市があったり、経済の混乱時代で、当時私は学生でした。信用金庫に衣替えした直後の26年に入ったわけですから、まあ朝鮮動乱が一段落して、経済もややうおったころでした。

だけど、やはり金融はひっ迫した時代で、手形割引のとき歩積みなんか問題になりましたね。他の金融機関は随分ひどいことをしたこともあったようですが、当金庫は固い方針で、5分以上は避けようということで手形もよい手形がきました。何しろ「貸して下さい」という時代でして、

分のいうことは聞く、というきびしい条件つきで引き受けてもらったのです。まあ実際にはそんなきびしさもなかったのですが……。

司会 まあそうこうして、いろいろな曲折と試練を経て設立のはこびとなったわけですが、昭和8年、9年とそれから数年も大変な時代が続き、社会全体が戦争体制に編成されていった時代でした。

まあ今も多少その傾向はありますけれども、会員に入られる方も、皆借りるのを目的で入会した時代でした。仕事も今よりやり易かったともいえます。

広瀬 それでも当時預貸率は50%しか出なかった(笑)。伸びも考えてみればよかったんだな。(笑)

小林 私が入ったころの記憶では50%か、預貸率は60%を切っていましたね。

◆家族的だった職場

司会 渡辺さんの入られた時はいかがでしたか。職場の印象など。

渡辺 まず家族的というか、和気あいあい、という感じで職員も20人足らずでした……。とにかく理事長の印象が強くて、堅実そのものでして、先輩にもいろいろとそういうことをいわれました。そのころの印象がぬけなくて、今でもこわくなったりして(笑)、一何しろ教えられることばかりで、それに、公私の別をはっきりもっていられて職場を離れるとガラリと変わるんですね。私には理事長の印象が強烈に残っています(笑)

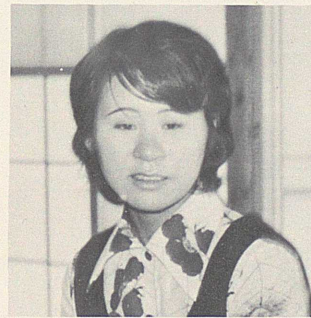


秋元 光氏

渡辺 当時のとおりやられたら、皆びっくりしますよ(笑)。

秋元 私が忘れられないのは本店ができて間もないころである女子職員とちょっとした口げんかをしましてね。入ったばかりでしたから、そのことは想い出として残っています。いろいろな面で今と違うところがありましたが、内輪の家族的仲間同志という感じでした。

小林 私の入った時も家族的だったわけですが、皆職員同志が名前を呼んでいるんですね。広瀬さんなんて…。そこで私は理事長、専務と役職名をいおうじゃないかと提唱したんですが、とくに女子職員がなかなかぬけきらなくて、ようやく理事長さんと呼ぶので、いや理事長でいいんだ、それで敬称なんだ、という具合で、私も初めびっくりしましたね。



船戸 玲子氏

変わったわお客様氣質

司会 金庫の中の話も尽きませんが、お客様氣質の変化という点ではいかがですか。

広瀬 まずそれに関連して、預金集めの苦勞の仕方が変わってきています。預金はとても集まらないというので、各戸に貯金箱を備えて、日掛10銭を集金したものでした。とにかく100円札で買物に行く

といやな顔をされるという時代ですから職員が少ないということもあって、その点今と比べると大変な違いでした。

司会 お客様の方で自主的に預けてくれるわけですか。

広瀬 そう、そういう日掛というものが預金源で、お客様の層もまじめというか固い人ばかりでして、実際には預金など思いもよらないという人が多かったというのが実情でしたね。

銀行なんか、お客様が足を運ぶということはほとんどなかったようで、支店長以下4～5人でしたから、支店長が集金に行き、帰ってきて貸付係をやったりして(笑)。

司会 お客様との結びつきといいますと……。

堀越 職員もお客様も随分変わりましたよ。今はお客様が増えたということもあり、多忙になったということもありましたが、以前は知り合いの人が気軽に手をふって入ってきましたね。

秋元 それと、時代の影響といいますか、お客様の知識も豊富になり、金融機関の競争も激しくなったということもあると思いますが。

船戸 窓口に見えるお客様も、昔のことはよくわかりませんが、今のお話を伺っていると、随分違ってきていると思います。何か人とのつながりというより、ドライになったというか、若い人が増えたせいもあって、他行といつも比較するわけですね。これだけ預金したらあそこではこれだけサービス品をくれたとか。(笑)

司会 事務的になったということですかね。

渡辺 それはありますね。大体、私が入ったころも今のようによくしてくれていなかったし、個人的な知り合い、家族との知り合いなんかで取引ができることが多かったですね。

船戸 定期預金の中途解約にこられたときなど一応中途ではできな

い旨説明しますと、引っ越しだとか、赤ちゃんが生まれたとか、お客様に頼まれるんです。その翌日、他の金融機関から非課税申告の廃止届がついたりして、こんな時、気持ちが通じなかったのかと悲しくなることもあります。

小林 そうですね。中途解約はとても淋しいですね。

◆これからの方向

司会 お客様も、私達もどんどん変わっていく時代ですから、段々むずかしい時代になってきましたね。ところで、今までいろいろお話していただいた中で、金庫の一貫した流れといいますか、金庫の精神というものも諸先輩の努力によって築かれてきたのですが、移り変わりの激しい時代にどのように対処していくべきでしょうか。

渡辺 そうですね。私は金庫と地元が密着した姿をもっと深めるべきで、別に変わることはないと思います。今、40年の基盤が出来たわけですから、その一貫して流れてきた精神をさらに強め、高めることが私達の任務だと思います。

船戸 非常に抽象的ないい方ですが、信用金庫でなければ出せない、という特色を出して地元の人とより深く結びついていくことが、これからの方向のように考えます。

秋元 そのとおりだと思います。これから金融機関も段々と国の保護から離れて、自由化していくでしょうから、より強い基盤作りを考えていかなければと思います。

司会 小山さん、外部からみていかがですか。

小山 銀行なんか、ちょっとした融資でも手続きがとても面倒でして、その点信用金庫は地元のためという姿勢がありまして、とてもいろいろ面倒をみてくれるし、手続きも簡単で助かっています。

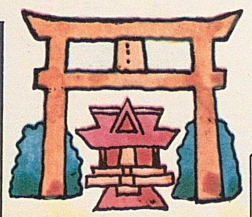
司会 その点まだまだ事務の簡素化を考える必要がありますよね。

堀越 船戸君もいったように、他の金融機関でできないこと、これに尽きますね。銀行なんか、地元のことを知らない人が支店勤務で来て、また慣れたところに転動してしまうんです。その点、私達は地元の人で固め、いつも地元の発展のために微力を尽しているわけです。手続きも早く出来るし、地元のお金は地元の繁栄のために投資するという姿、そして地元の金融機関としての性格をおし進めていく必要がありますね。

司会 “地元の繁栄は金庫の願い、”という気持を継続し、徹底させていくということですね。

結論の出ましたところで終りたいと思います。いろいろと多彩なご意見、お話をいただきありがとうございました。

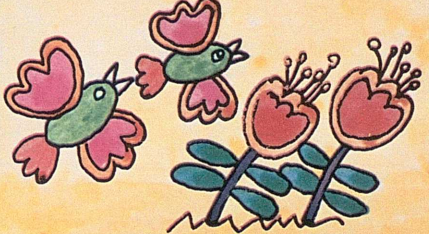
営業エリア・本支店／幹部・職員



●寒川神社



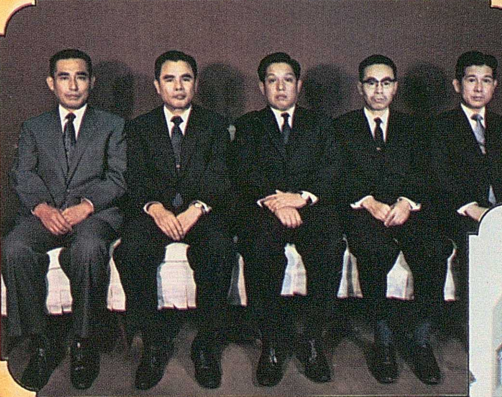
●大岡祭



●浄見寺



●大岡越前之墓所



- 小和田支店長 金子三夫
- 寒川支店長 小林一郎
- 営業部長 小田切忠治
- 総務部長 横山正己
- 南支店長 塩原芳郎



●本店



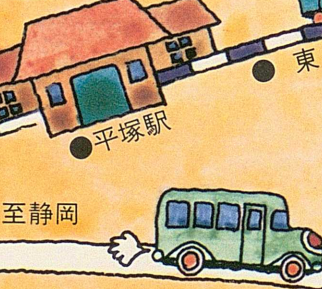
●南支店



●小和田支店



●辻堂駅



●平塚駅



●浜降祭



●相模湾

●鳥帽子岩

●国道134号

●至東京

●至静岡

●東海道(国道1号)

●東海道線

●国道三九号

●至橋本

●至東京

●至東京

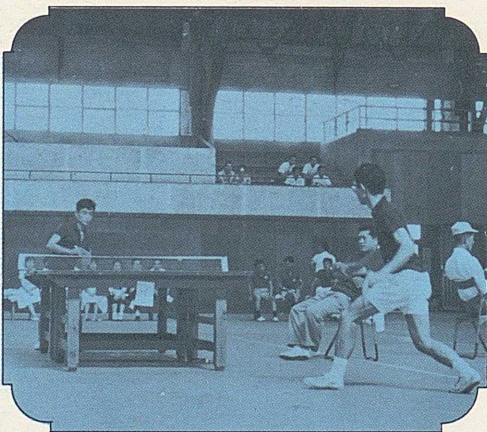
●至東京

●至東京

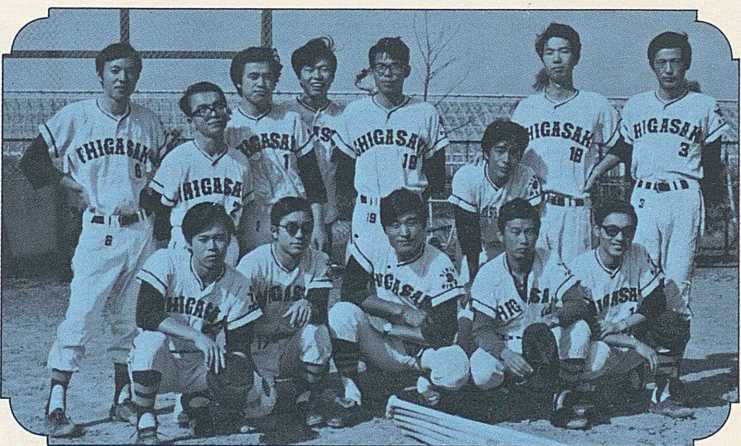
思い出のアルバム

よみがえってくる数々の思い出。苦しいこともありました
が、楽しいこともたくさんありました。仕事を通じて苦楽
を共にした仲間達と、いろいろな経験を積んだことは、い
つまでも忘れられないでしょう。
職員旅行で、クラブ活動で、意外な人の意外な面を発見し
たものでした。
私たちは、これからも、余暇を利用して円滑な人間関係と
明るい職場づくりに努めたいと考えています。

● 第四回県下信金卓球大会(昭和36年)



● 野球部



● 茅ヶ信釣り天狗の面々



● 茶道部



● 彼女ファイナルプレー賞です
ソフトボール大会



● (小諸町海応院にて)
故小山房全殿墓参記念昭和28年6月



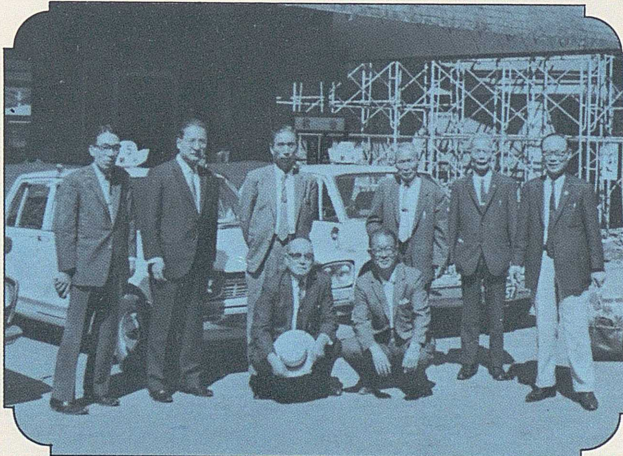
● 日本ライン下り(昭和46年)



● お客様南紀万博旅行記念(昭和45年)



● 花巻温泉にて(昭和45年)



● 昇仙峡(昭和31年)



私たちの今日の隆盛は、お客様のご支援の賜物でした。地
元の皆様の姿は、私たちの姿です。お客様の繁栄と幸せは
私たちの心からの願いです。お客様との数々の楽しい思
い出は、私たちの楽しい思い出です。
これからも尚一層、お客様に喜んでいただけます楽しい計
画を考えていきたいと思ひます。

思い出のアルバム

が飲屋など人の集まる場所へ顔を出すとアプローチができたが今はあわただしくなって、とはK君の実感。

サービスとは

K君はいつも考えていること——それはサービスとは何かということだ。こうして今日1日の仕事は終わった。店を出て家路を急ぐK君の後姿が夕やみに消えていった。彼の後姿から今日1日精一杯働いたという満足感が伝わってきた。

とって軽視できない仕事である。単にお金の出し入れでなく、金庫にはどのような預金があり、どんなサービスをしているのか、最新のニュースを知らせる義務があると思っている。

話はときには個人的なものに及ぶ。そんな処から人間関係が深まり、ときとして思わぬ新規開拓ができたりする。K君は次の集金先で、新しく企画された旅行積立預金をすすめてみる。可能性がある。次の訪問日を約束する。

アプローチつまり新規開拓である

ここが最もむずかしくK君としても腕のみせどころだ。とびこみ、紹介、縁故といろいろなアプローチの仕方があがるが、要はK君の熱意いかににかかっている。以前は床屋と

ある得意先係の1日

金融機関は競って大衆化路線をしき、預金獲得競争は日1日と激化の様相を呈している。お店でお客を待っているという時代は過去のものとなった。その意味で、今や得意先係は、お客様との接触の最先端に位置し、実績向上の鍵を握っているといえる。

この変化の激しい時代に、得意先係が毎日どのような活動をしているのか、K君と共にある1日の行動を追ってみた。K君の1日は朝の情報交換から始まる。自分の受け持つ地域のお客様の動きに何か変化はなかったか。自分の地域との関係で他の得意先係に流せる情報はないか——預金係・貸付係との打ち合せも欠かせない。昨日たまたま土地代金のニュースが入った。土地柄、このような情報は多くなり、金

額も大きく、入社7年目を迎えたK君の最も緊張する一瞬だ。早速係全体でアプローチへの秘策を練る。しかし、少額のお客様を大切にすることも金庫の性格上常に忘れられない。相互に今日1日の予定を合議し確認して最後に係長がまとめる。9時30分K君は店をあとにする。

今日の最初の訪問先はMふとん店。便利で普及度の著るしいローンの利用をすすめてみる。得意先係はお客様に応じた有効なお金の使い方を考えていなければならない。K君は住宅ローンの制度をくわしく説明する。

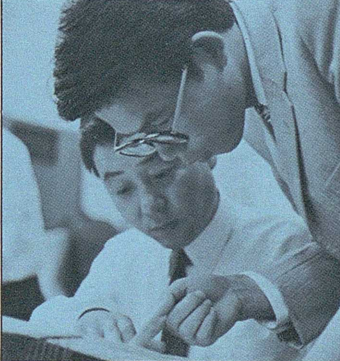
少しご無沙汰していたAさん宅を訪れる。格別の用件はなくても、こうして雑談することも大切な仕事だ。K君は先輩の注意を思い起こし、不行届きのないよう常々お客様との人間関係を大切にしている。

I靴店の集金にまわる。毎日の売り上げの集金は、K君に

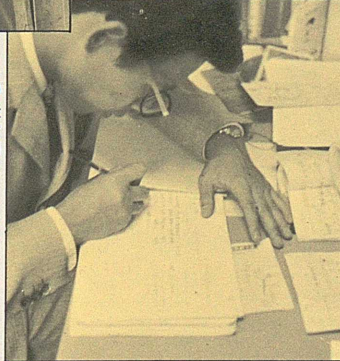
① 一日の集計
今日一日の成果をかみしめる。



⑩ 報告
上司へ今日一日の報告をする。あすへの秘策を練る緊張の時間である。



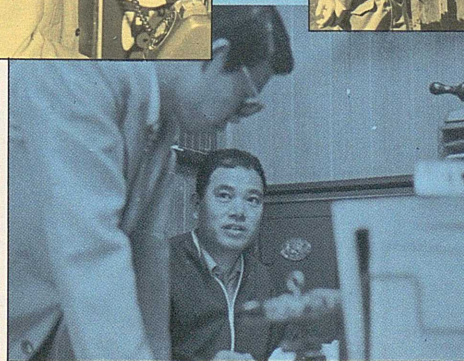
⑨ 日報の作成
今日一日の報告書を作成する。これはのちの貴重な記録にもなる。



⑧ あいさつ
街の中で知っている人に会った。気軽に話すことも仕事のひとつだ。



⑦ 経営相談
ただお金をあつめるだけではない。お金の有効な使い方、税金対策、などいろいろ相談にのることも大切な仕事だ。



⑥ 金庫への連絡
これは常に忘れてはならない留守の間どんな連絡が入っているかわからないからだ。



⑤ アプローチ
これは、最も大切でむずかしい仕事だ。ここが腕のみせどころ……



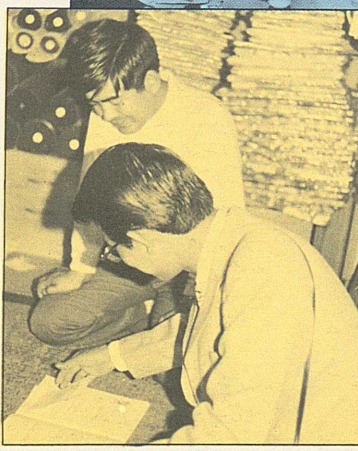
④ 集金
信用金庫の性格からしても、これも大切な仕事だ。動きがよくわかるし、どんなニュースが入ってくるかわからない。このお客様は大切にしなければ、



③ Aさん宅
しばらくごぶさたしていたAさん宅、現代の得意先係は本業ばかりでなく、お客様の趣味に関する知識も必要である。



② Mふとん店
お客様に応じた生活設計も一緒に考えてお金の利用の仕方を指導する。



① 朝の打ち合せ
情報交換は現在では欠かせない毎日の仕事だ。





一升壇の夢……………

二光化成株式会社
大成化光株式会社
社長 大森 松夫 (61才)

税務署には、泣きごとと言
い、銀行には、ほらを吹け
というのが経営者の方針で
あるが、私も適当にほらを
吹き吹き、25年という長い
間信用金庫に厄介になった。
この間一度破産状態におち
いり、現理事長に泣きつい
て特別沢山貸していただい
たことを、今でも深く感謝
している。同郷のよしみと
中学の先輩ということで特

別計らってくださったのだと思うと、責任が重く、理事長に迷惑を
かけないようにと、覚悟し努力したのを思い出す。

私の悪い癖は、何か仕事を始めると、予定をすぐほらにして、他
人にしゃべってしまうことである。金を借りる都合もあってのこと
ではあるが。しゃべってしまった以上必ず実現しないと、本当のほ
ら吹きになってしまうから、そうならない様にと、あんなこと
を言はなければよかったと思うことが常であり、私の人生の殆ん
どは、ほらに追われて苦しんで来たというのが本当である。然しま
あまあ現在のところまでは、ほら吹きといはれていないらしいので
悪運の強い男であると思っている。

金庫へせっせと通った頃、痛切に感じたことは、銀行へ行った時
は、奥へ行って偉い人と話をしているようではいけない。入口で用
事をすませ、さっさと帰るようであればいけないと思った。

私の様な小経営者に、真剣になって一番多く頭をさげた人は誰かと
聞けば、金融業者だと答える人が多い。私自身もそうであり、全く
情なくなつたこともある。そうして其の時、私は何時かは必ず一
度はやってやると決心したことがある。そして今でもそれを楽しみ
にしている。実現不可能の夢という方が本当かもしれないが、夢は
夢として、又楽しいものである。先ず努力して一億円を短期の定期
預金をする。そして期日が来たら午後3時15分前に現金支払いを請
求する恐らくないであろう。聞いたところによるとよほどの
銀行でも3時頃1億円の金を残しておくところはないであろう。
そこで支店長にべこべこ頭をさげさせるという寸法である。下っぱ
が頭をさげた位では承知しない大きい声を出せば、他の客の手前あ
わてるにちがいない。だが気のきいた銀行ならば前日までに延長を
申込んで来るだろう、その時は代理クラスでは話にならないといえ
ば、支店長がしぶしぶ一升壇位は持って挨拶に来るだろう。楽しき
哉である。

こんなことを、大変厄介になった信用金庫へ行ってやるかやらない
かは別問題であり、相手が金融業者であれば誰でも良い。留飲が
下ることである。



困難を克服して 25年

山本林業株式会社
社長 山本 卓一 (45才)

私と茅ヶ崎信用金庫との
関係は、終戦後間もない、
昭和23年の春ごろに始ま
ったと思う。

その頃は、終戦に伴う混
乱した社会情勢も、ようや
く落ちつきを取りもどして
来ていた。

当時の信用金庫（以下信
金とする）は、今の三菱銀
行茅ヶ崎支店と料亭喜久本

との中間にあって、商工会議所と同居で営業していたが、米山秀作
理事長（故人）と広瀬頼彦専務理事（現理事長）とのコンビで、も
っぱら、戦後の復興期にある地元中小商工業者のため、円滑な金融
を行っていた。

この年はまた、わが茅ヶ崎の人口がやっと3万人を超えて、待望
の市制がしかれた翌年にも当たっていた。以来、25年の歳月が流れて
今回、信金もめでたく創立40周年のよき日を迎えたとのこと、往時
を想うと誠に感無量のものがあります。

当時の私は、市内小和田で材木の仲買人をはじめたばかりの小商
人。なにぶんにも資金がないので、いきなり信金へかけ込んで、い
まは亡き米山さんや広瀬現理事長の格別なご厚意により、金3万円
を借用に及んだことを、いまなおはっきりと記憶しています。

そのころは材木も安くて、この金で17屯貨車2車両分を仕入れる
ことができました。全く夢のような話であります。

以来、たびたびご無理な面倒をみていただく一方、私もまた幾多
の困難を克服して、どうか今日の小社、山本林業株式会社を築く
ことができました。これもひとえに信金のご厚情によるものと感謝
いたしております。

現在、当社の県外支店とか、為替の関係とかで、他の2、3の銀
行とも取引はしているものの、基本的には信金にウエイトをおき、
過去のご厚情を忘れないようにしております。

信金におかれても、堅実、かつ誠実をモットーとして、激動期の
金融業界に確固たる基盤を築かれ、今日の発展をみるに至ったこと
は、誠に慶賀に堪えませんが、これというのも、広瀬理事長、堀越
専務理事をはじめ、役職員諸氏の永年のご努力があったればこそと
感銘を新たにしている次第です。

なお、多年業界に尽くされた功績により、先年は米山前理事長が
昨年は広瀬理事長が受章の栄に浴され、それぞれ黄綬褒章を受章さ
れたことも特筆されるべきでしょう。

信金今後のご繁栄を祈ってやみません。



庶民的な営業方針

株式会社木内
社長 木内 哲夫 (35才)

10月のある日の夕方事務所
の電話のベルが鳴った社の
用事の電話と思って受話器
を手にしたら茅ヶ崎信用金
庫からの電話で40年史の発
行に当り投稿願いたいとの
事でした一瞬躊躇いたしま
したが記念すべき事ですの
で一筆認める事に致しまし
た。

私の店と信用金庫さんとの
お付合は、だいぶ長い様で

すが、私との付合は15年位です。其の15年間は長い様でも有り又短
い様でも有ります。私が信金さんの名前を初めて知った頃の茅ヶ崎
は海も又海岸の松の緑も非常にきれいで静かな湘南の住宅地を代表
する様な街でした。

黄昏迫る頃は海岸線の彼方に伊豆の山々又富士が夕日に輝きシルエ
ットとなって浮び上る光景は雑誌の挿絵にも出るような景色でとて
も風情がありました。

10年一昔と申します過ぎ去った日々を考えますと10年の歳月は非
常に短く感じます。

それは私だけでなく本誌をお読の方々も同感ではないかと私は思い
ます。当時の茅ヶ崎は人口も少なく街も現在のような活気もなく、
ただ静かに軒を並べただけの商店街があるだけのように私の目には
映りました。

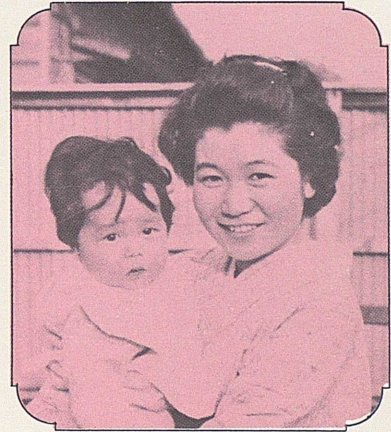
茅ヶ崎信用金庫さんが今年で創立40周年と、お聞きしその歴史の長
さに吃驚致した次第です。

私は信用金庫には年に2度か3度程度しかお伺い致しませんが毎日
何がって居るような気持です。それというのも毎日必ず先方さんか
ら来て頂いておりますので非常に親近感があります。私は何時も信
金さんを気軽に我家の金庫のように利用させて頂いております。

先方の都合も聞かず自分の都合で諸々の事をお願いしても気軽に引
受けて頂いて非常に便利です。このような庶民的な雰囲気のある営業
方針は対人関係も良く又営業の面でも非常に良い成績を上げておら
れる基ではないかと何時も私は考えております。

これから先も市民に親しまれる信用金庫であって欲しいと願わずに
はられません。

時が移り茅ヶ崎も次第に発展し現在のように街も活気に溢れ甲斐甲
斐しい立派な都市に成長致しました。これも40年の長い歳月に亘り
他の産業と共に信用金庫が茅ヶ崎市の発展に大きく貢献されたので
はないかと私は思います。又このような事は信用金庫を利用致して
おる者の誇りでもありこの先も信用金庫の益々の発展を願ってや
みません。



大銀行にない親近感

主婦 大川 れい子 (36才)

小学校時代の子供銀行に始
り、5年間の勤務先として
の信用金庫、又結婚式から
現在に至る迄わずかばかり
の預金者として、思いかえ
せば私の人生の大半を占め
る20余年間を共に歩んで参
りました。

この茅ヶ崎にも一流都市銀
行の進出が目立ち、目新し

いものへと移りたがる人の世の常として、好奇の目を持って眺めて
いる常日頃です。

大銀行には無い親近感、きめの細かなサービス、これが信用金庫の
一預金者として一番望む所ではないでしょうか。

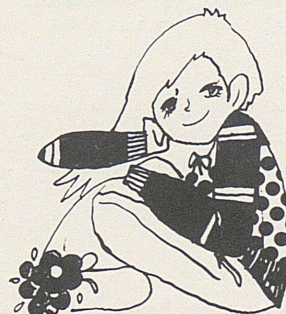
現在の様に値上りのはげしい時代に、預金金利以上の物価上昇に音
を上げながらも、預金の必要性を痛感し、お世話になっている次第
です。

ご近所の方々から集金に対する苦情を聞くことがありますが、こん
なとき我が事の様身に身の細る思いが致します。

窓口にいっしょの方、得意先係の方、直接お客様に接する方の態
度いかんによって左右されるのではないのでしょうか。

どうぞこれからも一人一人が信用金庫の職員である事への誇りを持
って仕事にはげんで頂き度いと思います。

最後に今後も増々御発展される事を祈ります。



◆営業のご案内◆

青年よ
はばたけ未来に向かって——
力強く
天空高く
のびのびと孤をえがけ

青年よ
はばたけ未来に向かって——
限りない夢に
胸ふくらませ
崇高な理想を求めて舞え

青年よ
はばたけ未来に向かって——
その力強いはばたきは
森の中の仲間
希望にあふれた
夜明けを告げるだろう

——未来を求めてはばたく
力強い飛躍の姿

預 金

当 座 預 金

会社、商店などお出し入れのひんばん向きにご便利で現金同様に通用する当金庫の小切手をお使いになれば安全で能率的でございます。(無利息)

普 通 預 金

どなたさまにも向く簡単に出し入れのできる貯蓄をかねた預金です。(年2.00%)

定 期 預 金

利息割合が一番よく一口1,000円以上いかほどでもお預りいたします。なお(優)制度をご利用になれば150万円まで無税です。
1年6ヵ月定期：年5.60% 1ヵ年定期：年5.35%
6ヵ月定期：年4.85% 3ヵ月定期：年3.85%
●交通安全定期預金もございます。

自動継続定期預金

元金に利息を加え自動的に書替えられますから利殖にもっとも有利な預金です。

積立定期預金

あなたのおきめになった積立期間内でお好きなときに、お好きな額だけ、何回でも。お利息は定期預金と同じ高い率で大へんご有利です。

通 知 預 金

1万円以上大口ご遊金の一時的なお預け入れにご有利です。(年2.50%)

納 税 準 備 預 金

税金をおらくに納めるためにご便利な預金です。(年3.00%)

信 ち ゃ ん 預 金

お子様の学資、進学資金のために定期積金と定期預金を組合せた預金で一口1,000円。教育計画にぜひご利用ください。

定 期 積 金

契約期間中毎月一定の掛金を払込んで満期日に元利合計額をお払いいたします。(集金もいたします)。

融 資

貸付及び手形割引 商業手形の割引、手形貸付、証書貸付など。またそのほか住宅ローン、マイカーローン、電化ローン等のお取扱いもいたしておりますから、ご利用ください。

代理業務 中小企業の専門金融機関として設備資金、運転資金など下記の金融機関の代理業務の取扱いをいたしております。

- 中小企業金融公庫 ● 国民金融公庫 ● 住宅金融公庫
- 全国信用金庫連合会 ● 日本不動産銀行 ● 日本興業銀行
- 日本長期信用銀行

その他のご案内

株 式 払 込 事 務

会社設立、増資の場合など払込保管金の証明書発行等のお取扱いをいたします。

公 金 収 納 事 務

茅ヶ崎市市税、神奈川県県税の公金収納事務取扱いをいたしております。国税・社会保険料・電話料金・水道料金・NHK受信料金・電力料金・ガス料金の自動振替支払いができます。

内 国 為 替

全国各地へのご送金、お取立てにご便利です。

中 小 企 業 退 職 金 共 済 事 業 団

従業員の退職金をお支払いするための中小企業退職金共済事業団への払込金の受入れおよび退職金の支払い事務をいたしております。

小 規 模 企 業 共 済 事 業 団

小規模企業者の共済金をお支払いするための小規模企業共済事業団への払込金の受入れおよび共済金の支払い事務をいたしております。

あとがき

私たちは、初めての経験ということもあり、40年もの長い期間の記録を、一体どのようにしてこの小冊子におさめるか苦慮しました。思えば長くけわしかった諸々の事柄を、どのような形でどのように表現するか――

ともかくできるだけ資料を集めることから始めました。資料は除々に集まり、取材もすすみ、計画は少しずつ実現していきました。編集の途中、余りに多くの出来事と限りないなつかしさに心を奪われ、ペンを置いて思い出に浸ることもしばしばでした。

編集方針としては、先達各位のご苦勞をお伝えしたいこと、記念誌ではあってもなるべく形にとられないこと、そしていろいろな方面の皆様楽しくわかり易く読んでいただけるように考えたつもりです。

今、考えてみますと、あれも載せたかった、これも載せたかった、ああすればよかった、こうすればよかった――と思ひ残すことも多々あり、皆様にも必らずご満足いただけるものとは思いませんが、この小冊子が40年の節をなす記録として皆様のご理解をいただきそれがこれからの指標の一端となれば幸せです。

最後にいろいろと資料の提供をいただいた内外の関係者及び編集にご協力いただいた方々に心から感謝いたします。

茅ヶ崎信用金庫編集委員一同

茅ヶ崎信用金庫40周年記念誌

昭和47年11月18日

発行 茅ヶ崎信用金庫
茅ヶ崎市新栄町8番4号

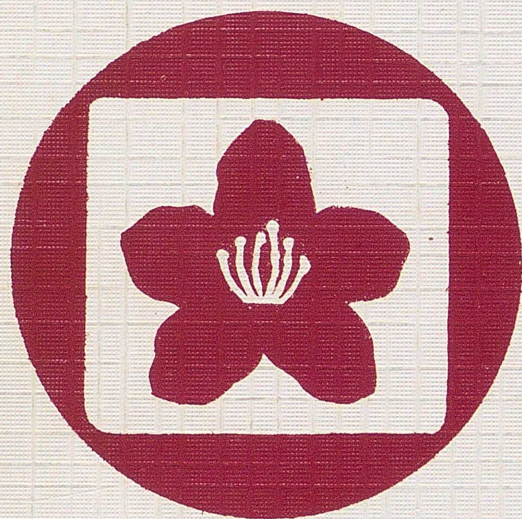
印刷 西武印刷株式会社
東京都北区滝野川7丁目41番11号

装幀・レイアウト 西武印刷(株)企画部

地元の繁栄 金庫の願い、 感謝で迎える40年

茅ヶ崎信用金庫

本店 茅ヶ崎市新栄町8番4号 TEL(82) 4121 (代)
南支店 茅ヶ崎市幸町2番24号 TEL(85) 2201 (代)
小和田支店 茅ヶ崎市浜竹3丁目2番32号 TEL(82) 4187・4188
寒川支店 高座郡寒川町岡田112番 TEL(75) 3311 (代)



表紙
東海道名所
(現在の茶屋町付近)